

道を拓く者を格納せよ

スノーステーションは地域の経済活動や
住民の安全を確保するために不可欠な施設です。

積雪地域では、路面凍結により

交通事故や転倒事故のリスクが高まつたり

道路の除雪が遅れることによつて

緊急車両の通行が困難になるなど

地域住民の生活に大きな影響が及ぼされます。

住民が安全な生活を送れるよう

冬季の路面凍結に迅速に対応する

凍結防止剤散布車等を格納する

スノーステーションを設けることとします。

ひろしま建築学生 チャレンジコンペ 2025

審査結果

主催



ENERGY
OF
PEACE
ひろしま

協賛



建物のお医者さんがつくるリノベーション



大旗連合建築設計

OHATA + PARTNERS



安部良委員長 講評(最終審査会での講評を抜粋)

今回はスノーステーションという、一般にはあまり知られていない建物を題材としたため、学生の皆さんにとって難しい課題であったと思います。そのような条件の中でも、現実性をぎりぎりまで考え抜いたクオリティの高い提案が多く見られました。各提案からは多くの時間とエネルギーを費やした様子がひしひしと伝わり、驚きと喜びを感じました。結果、従来にもまして質の高いコンペティションとなり、審査する我々にとっても充実した経験となりました。また、これからスノーステーションの可能性について考える機会が生まれたことは、意義深い成果であったと考えています。皆さんの熱意と努力に心より感謝します。お疲れ様でした。

審査委員会

審査委員長	安部 良	建築家、Architects Atelier Ryo Abe 代表 東京藝術大学美術学部建築科准教授
審査委員	田中 健二	建築家、株式会社 SHDL 代表取締役
	大野 慶雄	建築家、オオノヨシオ建築設計事務所主宰 広島工業大学非常勤講師
	南 博高	広島県土木建築局土木整備担当部長
	吉田 勝則	広島県土木建築局建築技術担当部長

審査スケジュール

応募登録申込期間 令和7年7月5日（土）～令和7年9月4日（木）

作品提出期間 令和7年9月5日（金）～令和7年9月12日（金）

一次審査 令和7年10月1日（水）

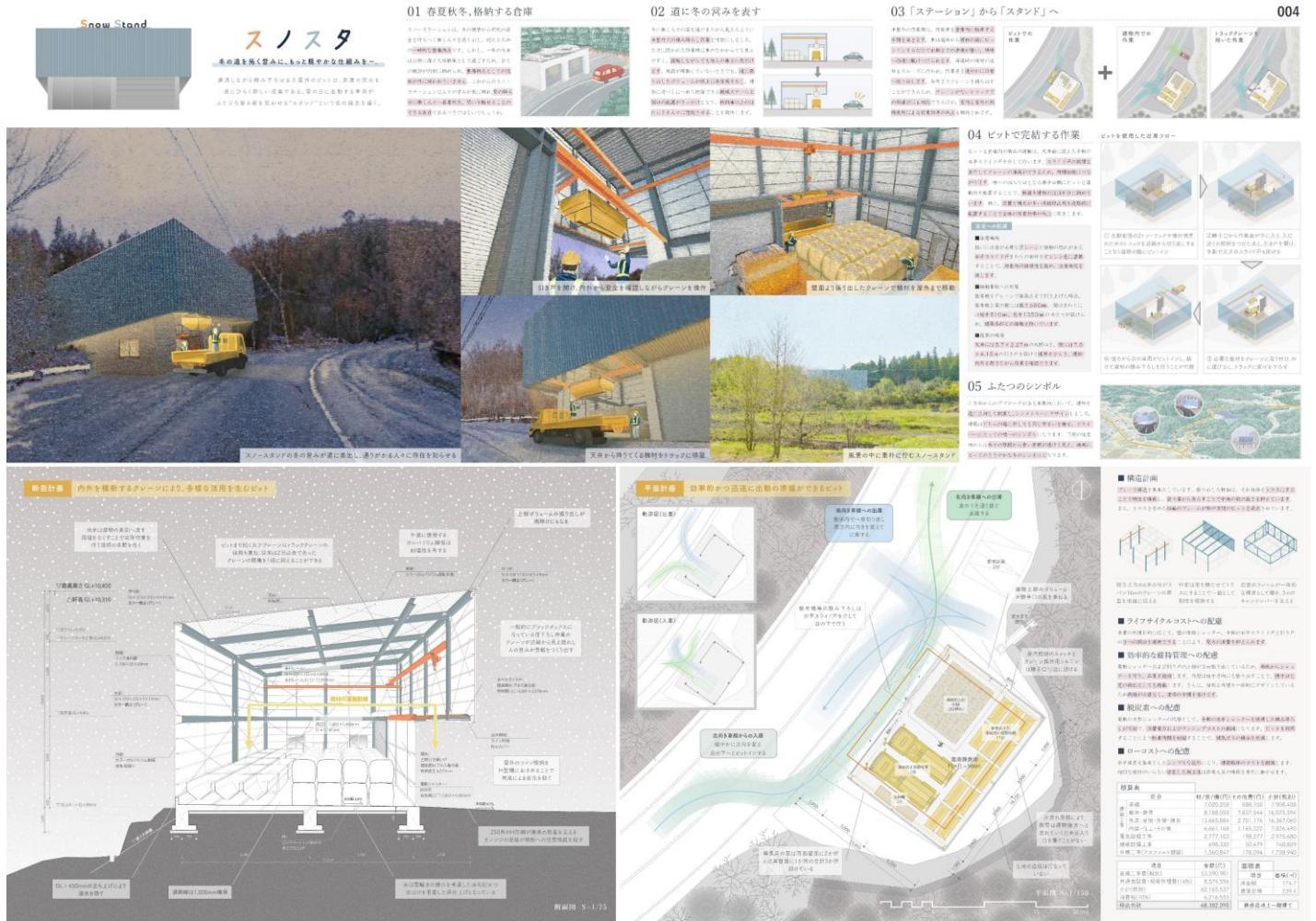
最終審査 令和7年11月15日（土）

審査過程

BEST-18	1次審査会の審査投票で選ばれた18作品 全26作品を対象に各委員が選定したい作品に投票し、1票以上獲得した作品 (各委員がそれぞれ10作品へ投票)
BEST-15	議論で選ばれた15作品 18作品を対象に、委員の議論により選定した15作品
BEST-10	1次審査会の審査投票で選ばれた10作品 15作品を対象に、委員の投票により選定した10作品
BEST-5	【入選作品】1次審査を通過した5作品 【審査委員長特別賞】を上位5作品以外から3作品選定
BEST-3	【優秀作品】最終審査会の審査過程で選ばれた3作品 5作品を対象に、委員の投票・議論により選定した上位3作品
BEST-2	【優秀作品】最終審査会の審査過程で選ばれた2作品 委員の投票・議論により選定した上位2作品
BEST-1	【最優秀作品】最終審査会の審査過程で選ばれた2作品 委員の投票・議論により選定した上位1作品

最優秀作品 (BEST-1)

004 | 京都工芸繊維大学大学院
村上幹太郎、上林竜也、飯田雅、田中希、藤本悠花



投票した委員

BEST-1
(最終審査時投票)
安部、田中、
南、吉田

BEST-5
田中、南

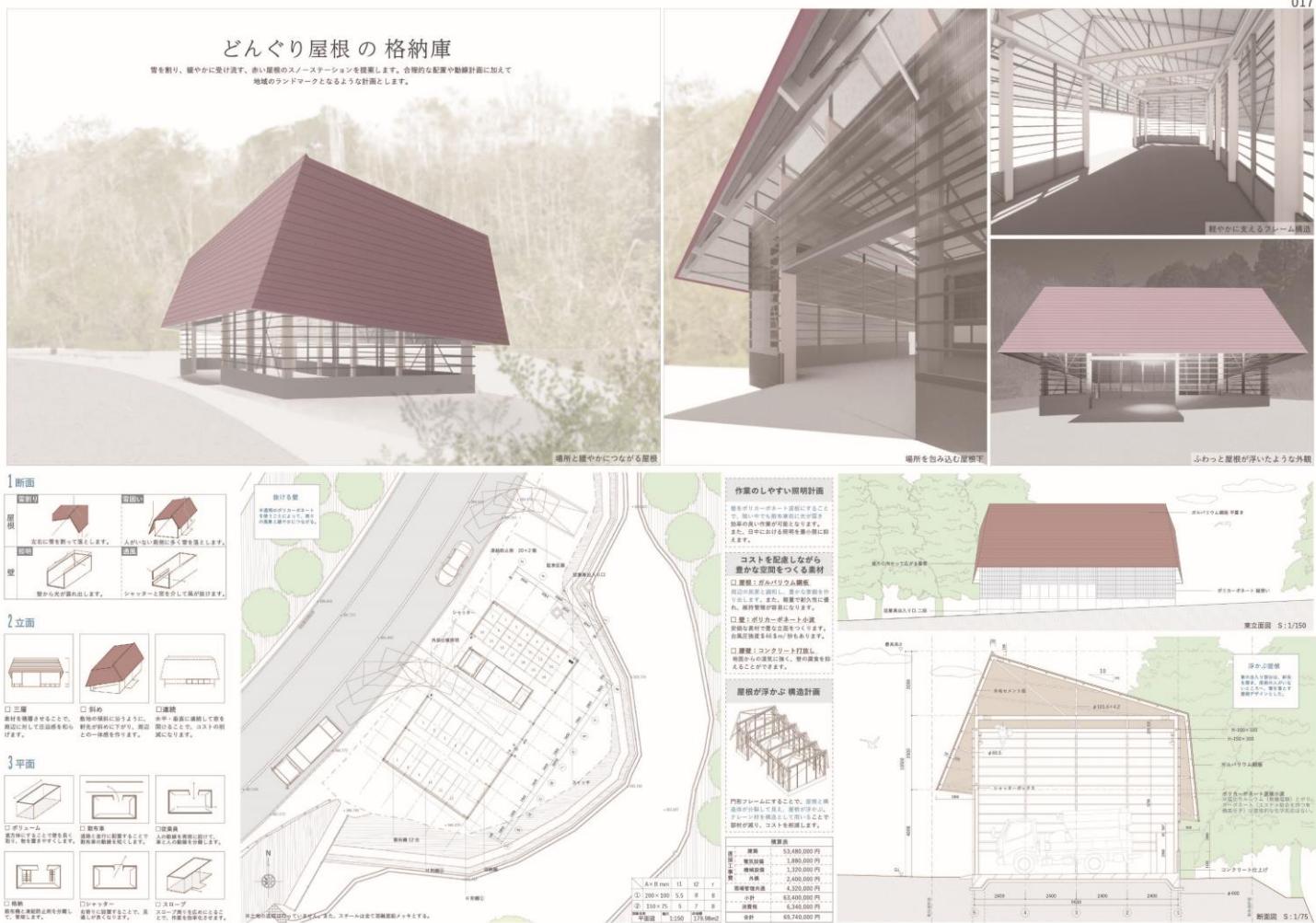
BEST-10
安部、田中、
南

BEST-15
委員の議論
により選定

BEST-18
安部、田中、大野、
南、吉田

委員コメント

外観のプロポーションはもとより、建物内に入った時の壁や屋根裏の見え方がシンプルで均整がとれており美しい。前面道路からのセットバックが確保されており、車両出入時の安全面にも配慮されている。また、必要な設計条件を守った上で、機能的で効率的な作業が行えるよう工夫された作品となっている。



投票した委員

BEST-2 (最終審査時投票) 大野

BEST-5

BEST-10
安部、大野

BEST-15 委員の議論 により選定

BEST-18
安部、田中、
大野、南

委員コメント

外壁を透明にすることで、屋根のシンボルとしての意味を際立たせている魅力的な作品である。屋根の隙間に鳥の巣などができるのかメンテナンス性の心配はあるが、形は面白い。

閉ざされたがちの倉庫が、素材感などによりふわっと屋根をかけているような感覚を与え、閉じながらも開いている作品となっている。

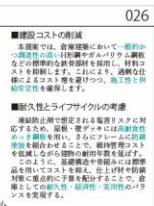
優秀作品 (BEST-3)

026 |

東京理科大学大学学院 田邊穂高、劉子洋



機能と共存するランドマーク性
■建設コストの見方
建設コストは、建設費用において一般的な建設費用の約1.5倍程度となっています。これは、外観の透かし窓や反射鏡などの装飾的要素が高額なためです。しかし、この建築は、見る方向の変更によって異なる外観を提供するため、他の建築物よりも高い価値があると言えます。

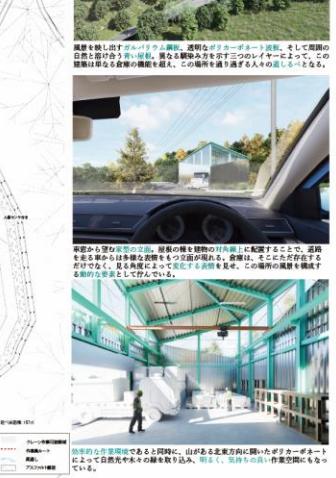


風景を受け止める立面

■構造の見方
斜めに立ち伸びる壁の立上げ付けは、屋根に張った雪を自然にシナリードラムから落す。

・施設運営の人材不足による運営難を解消せず、稼働率を高め、出発の初期費用を削減する。

・利用者が安全が確保されると同時に、緊急活動時のシャットダウンが防げられる。



投票した委員

BEST-3
(最終審査)
委員の議論
により選定

BEST-5
大野

BEST-10
田中、大野、
南、吉田

BEST-15
委員の議論
により選定

BEST-18
安部、田中、大野、
南、吉田

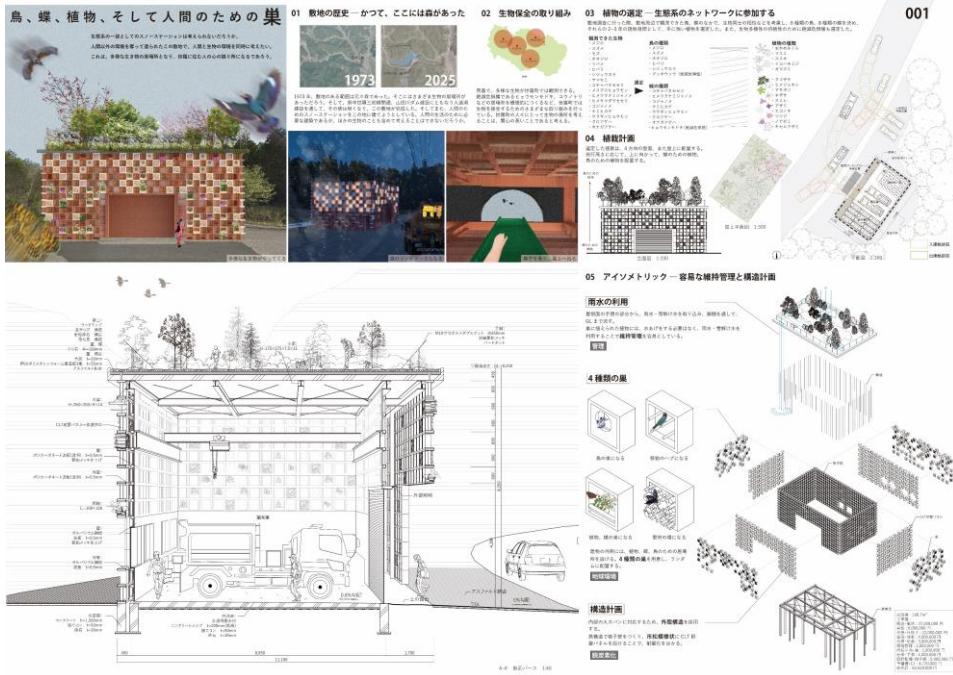
委員コメント

構造体 자체が建物の表現となっているような形状が魅力的である。屋根のかかり方が特徴的で、中の見え方も面白い。外壁に、車のヘッドライトや太陽光が反射することが想定されることから、前面道路の交通の安全性が懸念されるが、セットバックをしっかりと取っていたり、坂を上ってくるとき、降りるときで色んな見え方となっており、道路との関係性を考えた作品である。

**応募作品
審査委員長特別賞
(BEST-10)**

001

東京科学大学大学院
村上諒



**委員
コメント**

人間にとて重要な冬の道路整備をサポートするスノーステーションだが、車によって影響を受けている人間以外の生物の環境にも着目したテーマ性が素晴らしい。緑地のメンテナンスを通して地域コミュニティを醸成する提案があれば、発展性のある作品になったと思われる。

**応募作品
(BEST-10)**

003

京都工芸纖維大学
木村駿平、市原元気、廣澤陸、塩坂優太、小鯛菜生



**委員
コメント**

構造上本当に成立するのか疑問だが、倉庫でよくイメージされる真四角ではなく三角形形状にして構造を考えているところが面白い。目の前の道路の勾配と平行になっており、下から上がってきたときの見え方が面白そう。なぜ屋根の色を赤にしたのかが気になる。

投票した委員

BEST-10

安部、大野

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

安部

投票した委員

BEST-10

吉田

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

田中、大野、南、吉田

応募作品 (BEST-10)

010 | 東京理科大学大学院
高橋熙、加藤颯真

移ろいを映し出す

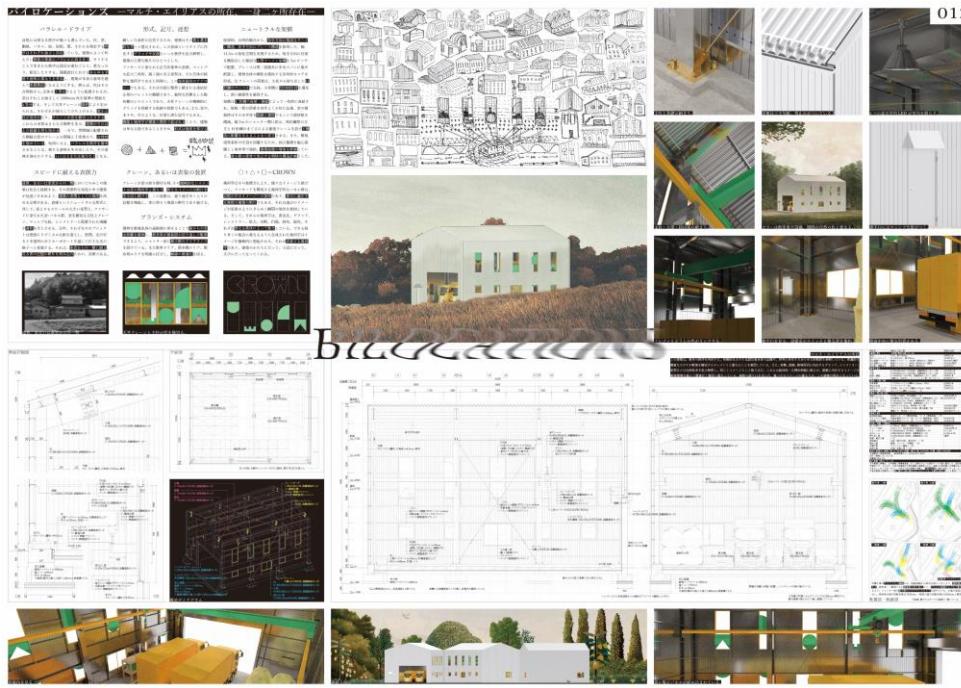


委員 コメント

視認性のバランスが良く使いやすそう。風景の中に隠す建築を目指しつつ、中を見せようとしているというのが矛盾しているように感じたが、細部までこだわっていることが良くわかる。

応募作品 審査委員長特別賞 (BEST-10)

012 | 近畿大学大学院
坂本紘都



委員 コメント

まちと離れた道路沿いに建つスノーステーションに、住宅のような親しみのある外観をデザインしている。車の出入りの安全性にさらなる検討が欲しいが、人間の生活を支える場所であるという事をよく考え、表現した作品となっている。

投票した委員

BEST-10

田中、南、吉田

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

田中、南、吉田

投票した委員

BEST-10

田中、大野、吉田

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

安部

応募作品 審査委員長特別賞 (BEST-10)

022

讀壳理工医療福祉専門学校
劉治君、根岸花帆

世羅の道しるべ 一世界に小さな新しい風景をつくるー



投票した委員

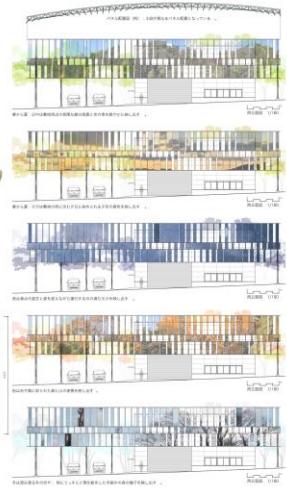
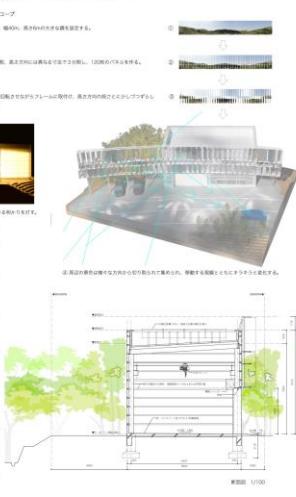
BEST-10

安部

BEST-15

委員の話

BEST



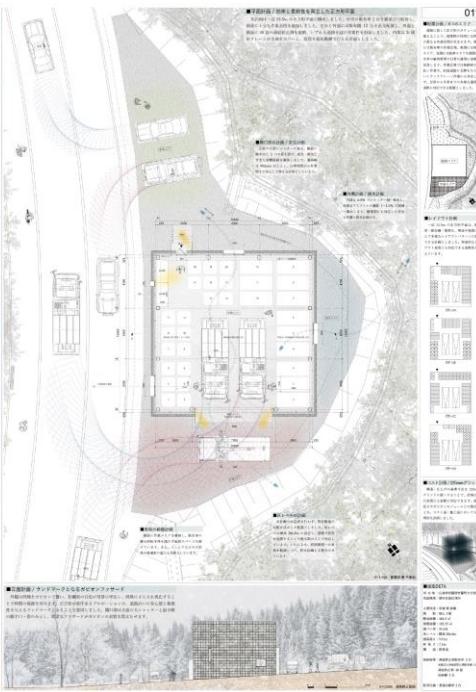
委員 コメント

風景をつくる建築、ということにこだわった作品である。カレイドスコープをファーサードにすることによって、とても美しい風景を創り出している。外部空間の活用方法、通行する車への安全性の検討などにより一層の工夫が欲しかった。

応募作品 (BEST-15)

011

琉球大学大学院 我如古和樹



投票した委員

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

安部、田中、大野、吉田

委員 コメント

建築後に牡蠣殻がどうなっていくか、メンテナンスの面が心配だが発想は面白い。経年変化についてもっと検討できていれば発展性がある作品だった。

応募作品 (BEST-15)

015

山口大学大学院 岡町咲希、山本隼平



投票した委員

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

田中、南

委員 コメント

居蔵づくりが特徴的で面白く、コストも抑えて建築できそうのが良いが、道路側に雪が落ちて来そうのが気になる。

応募作品 (BEST-15)

018 |

横浜国立大学大学院
黒沼和宏、高塚惇矢

「包み屋根」にまもられて

「同じく考え方から、みんなで熱しての建築ではなく、みんなの冷たさをも
とももしての建築であるべきだ。普段と変わらぬものから、多要素をもつて作
る」と。この想いが、この建築の原点です。この想いを実現するため、この建
築では、多要素をもつて「包む」ことを試みます。

「包む」ということ

01. 「包む」ということ

02. 「包む」ための建築

03. 大切に「包む」ための車庫・倉庫として

018

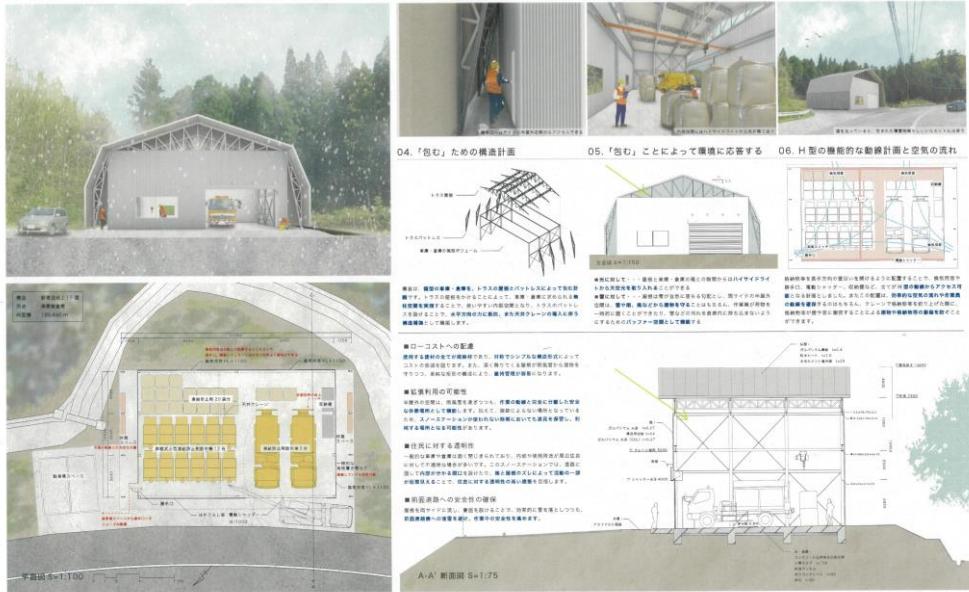
投票した委員

BEST-15

委員の議論により選定

BEST-18

安部、田中、大野、南、吉田



委員 コメント

建物を包む形状となっており、コスト面や、屋根の中でこうもりなどが巣を作らないかメンテナンス面に懸念があるが安心感があり見栄えが良い。世羅の中でどのような意味を持つのか検討されているとなお良かった。

応募作品 (BEST-15)

027 |

東京理科大学大学院
許山桂、増田龍

水原の道標

涙でついた風に、一筋の光を灯すように。
雪をほどく温もりをまとい、甘麗の地元に寄り添うように街の建築。
雪を舞うような街並みが、内蔵に軽かきをもたらし、
この地の酒のべとして、静かに希望を放す。

わがし酒の
水原の道標

応募作品 (BEST-15)

広島大学・大学院
030 | 齋藤翔太、大賀颯太、加藤大翔、隠崎嶺、毛村光希、
佐藤健人、吉村和真



委員 コメント

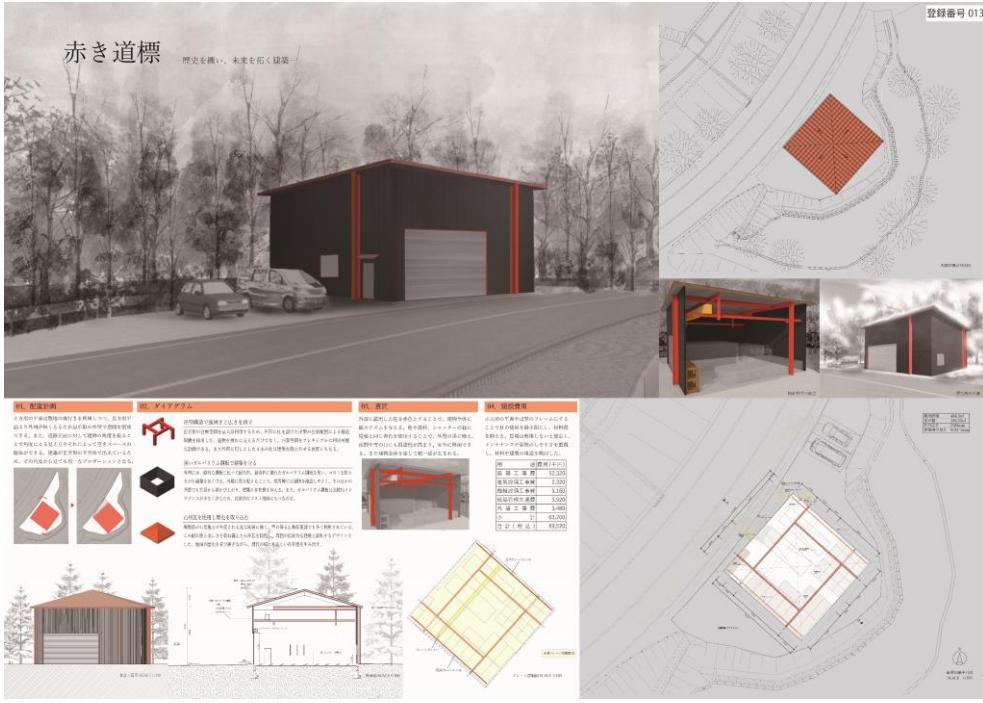
こもれびのように灯りが漏れ出ているのが魅力的である。提案書の中で細かく検討されているのはよくわかるが、外気が遮断されていないので、そこを改善するとなお面白く機能的な建築になると思う。

投票した委員

BEST-15
委員の議論により選定
BEST-18
大野、吉田

應募作品 (BEST-18)

013 | 高山栄三郎、久木千鶴
竹谷和虎、小室彩音、池田遼太郎、松村美咲

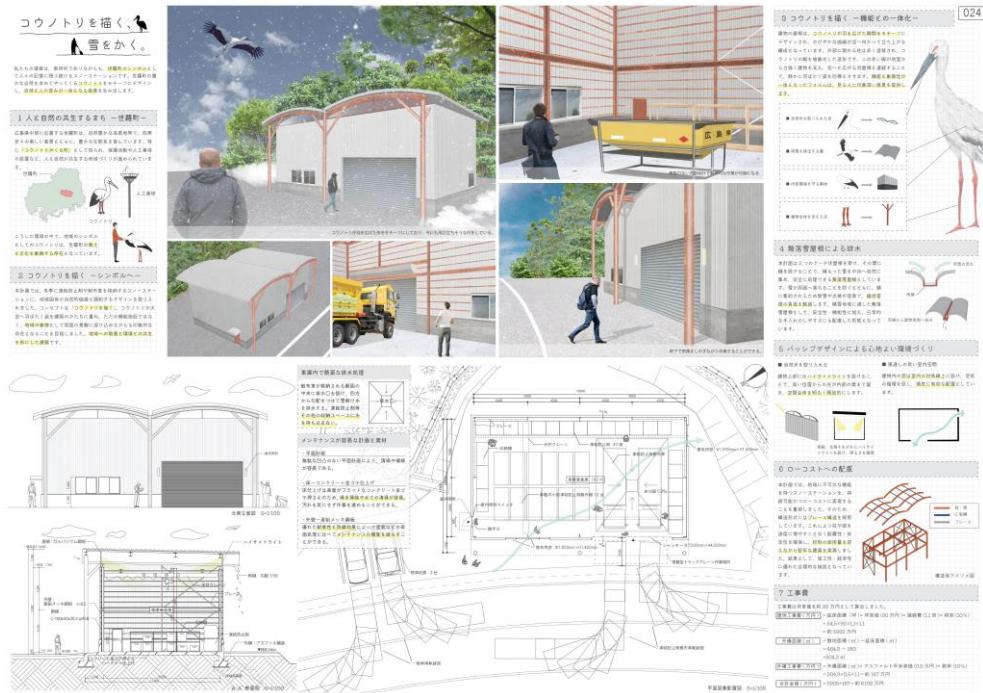


委員
コメント

シンプルでかっこいい。また、石州瓦がよく映えている。

應募作品 (BEST-18)

024 | 広島工業大学大学院
鳥居春那、中村美遊



委員 コメント

世羅に建てるということをよく考えている作品だと思う。枝分かれした柱をどのように作るのかは不明だが、コウノトリをモチーフにするといった着眼点が面白い。

投票した委員

BEST-18
南

投票した委員

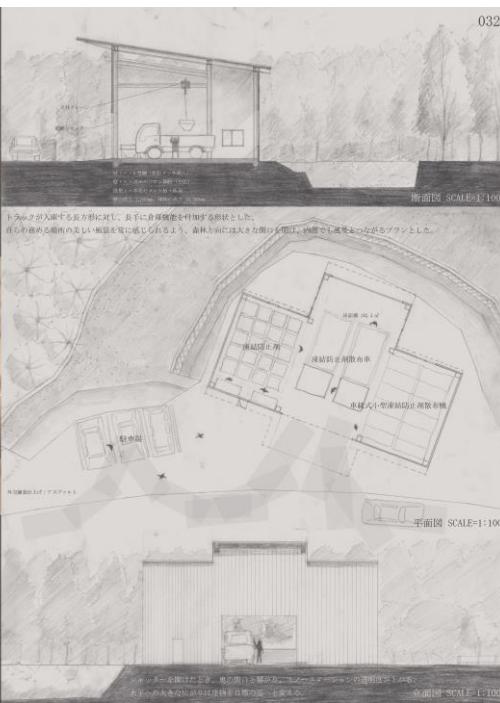
BEST-18
南

応募作品
(BEST-18)

032 | 岡山県立大学
山下太志



時間は風景と共に



投票した委員

BEST-18
大野

委員
コメント

敷地条件に対して素直に計画された作品である。
裏にぬける開口部が気持ちよさそう。

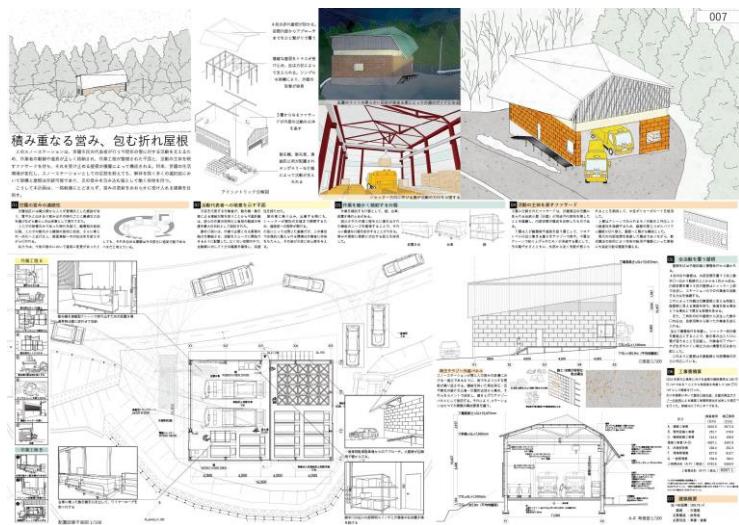
応募作品

005 | 穴吹デザイン専門学校
城戸はるか、織田彩乃、山内直人、中村璃来



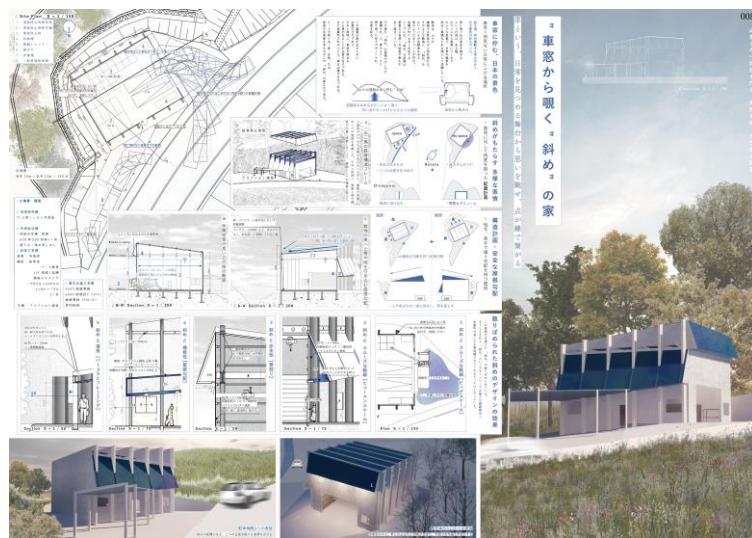
応募作品

007 | 東京科学大学大学院
鷺頭大祐、松本勇生、西海天翔、牧野桃子



応募作品

008 | 東京理科大学大学院
正清裕大、飯嶋真由



応募作品

016 | 穴吹デザイン専門学校
岩川瑞季、原内陽菜



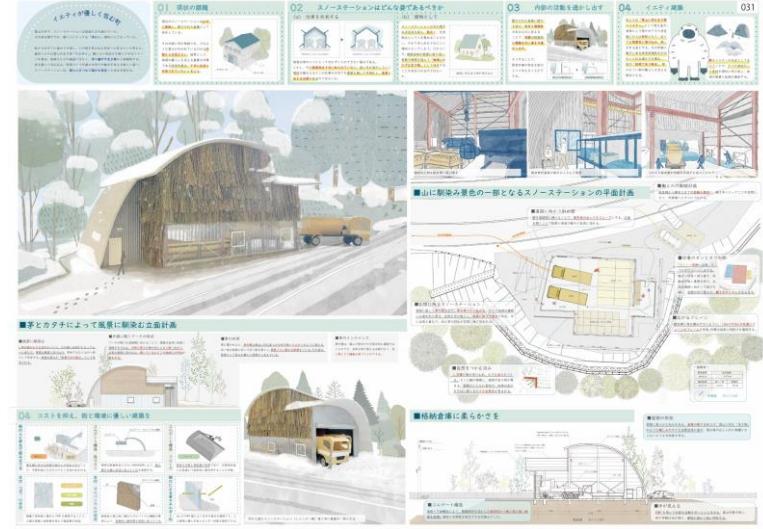
応募作品

019 | 岡山県立大学・大学院
河原佑芽、小原凜、荻田歩花、草壁結



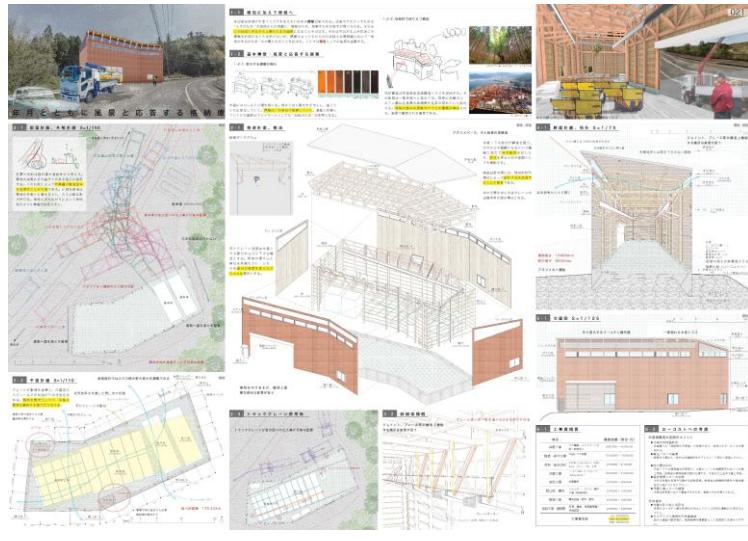
応募作品

031 | 広島工業大学大学院
小西美海、黒田日向子



応募作品

021 | 横浜国立大学大学院
照井遙仁



応募作品

034 | 武蔵野大学
杉本葵、榎本陽菜、鳥居陽菜

